

# 平成31年度広島市立広島特別支援学校第2回学校協力者会議概要

1 日時 令和元年12月11日(水) (10:00~11:30)

2 場所 広島市立広島特別支援学校 プレイルーム1・2

## 3 内容

### (1) 授業参観

提言部会	高等部職業コース第3学年(家政)→高等部第1学年(国語) →中学部全学年(音楽)→小学部第1学年(生活単元学習)
評価部会	中学部全学年(音楽)→小学部第4学年(図画工作) →高等部第1学年(国語)→高等部職業コース第3学年(家政)

### (2) 協議の概要 (参観授業の感想等)

- ・ クリスマス会の雰囲気を感じさせるための映像による支援があつて良かった。映像で完成形などを提示していて分かりやすい。児童が自分で準備して授業に向かっていた。教室が整備され、落ち着いた雰囲気で授業ができていた。T2との連携もよく、指示が分かりやすく、児童もよく活動していた。
- ・ 音楽(コンサート)では、先生方が衣装を用意しての本格的な演奏だった。本格的な演奏が聴ける良い経験である。生徒がどんな反応をするのか、そばにいる先生が生徒の反応を見て、寄り添った言葉掛けがあるといいと感じた。
- ・ 年賀状を書く授業では、先生が絶妙な間合いで、生徒に言葉を掛けていた。生徒の動きを待って、言葉を掛けていた。生徒の気持ちを理解し、指導していると感じた。生徒が敬語を使って話をしていたことが印象的であった。T1、T2の役割がはっきりしていて効果的だった。
- ・ 職業コースの家政の授業は、今後の生活に役立つだけでなく、社会にもつながる授業であった。外部人材として専門の方に教えていただくことは良いと思う。外部人材の活用は働き方改革にもつながる。ただ、外部の専門家に全て任せるのではなく、連携を取り、計画を立て、事前・事後学習を行っていくことが大切である。
- ・ 全般として、気持ちよく参観させていただいた。学習環境が整えられていることを感じた。教室前廊下には整然と車椅子が並べられていた。児童生徒が前向きな姿勢で授業に臨んでいた。人的支援、環境支援が子どもたちを変えていくと感じた。

### (3) 学校長より

- ・ 旧出島処理場の解体工事が12月から着手され、まず植樹の伐採と仮囲いの設置がある。付近が片側交互通行になる時間がある。
- ・ 校舎の増築について、児童生徒数の急増に伴い、計画の見直しを図っている。当初21学級の増築のところを、17学級増やして、38学級に増築することになった。そのため、完成予定が令和6年度にずれ込むことになった。
- ・ 学年だよりを出しているが、学習内容について、なぜ、この授業を行っているか、どのようなねらいがあるのか、明確にして出すように話をしている。保護者に寄り添い、共に考えて、育てていく視点が大切である。

### (4) 委員長より

- ・ 授業を見る視点などが明確にあり、参観をしていてありがたい。全体としても、どの学級も静かな環境で学習できている。日頃の努力の積み重ねである。次回に授業を見るときには、本時の授業の単元計画を提示し、導入、展開、まとめのどの場面になるのか、分かるようにしてほしい。

参加者： 江上 林 中村 鈴川 岡峰 久保

中尾校長 山本教頭 田中教頭 合田教頭 森澤部主事 11名